

令和8年度当初予算案

生活困窮者就労準備支援事業費等補助金 3.9億円 (4.0億円)

都道府県実施分：地域医療介護総合確保基金86億円の内数 (97億円の内数)

※()内は前年度当初予算額

1 事業の目的

- 介護人材の確保にあたっては、人材の裾野の拡大を進めて多様な人材の参入促進を図ることが必要であることから、平成30年度以降、**介護の仕事のイメージ**や**社会的評価の向上**、**理解の促進**を図るため、介護の仕事の魅力発信に関する取組を実施してきた。
- 厚労省においては、**発信力がある事業者による全国的なイベントやマスメディア、ネット広告などの企画・発信**を行いつつ、最前線である現場の視点から、**介護職など自らが主体**となり、**自らの声で仕事の魅力・やりがい・誇りを発信**するコンテンツの企画・制作等を行い、**発信力のある事業者と連携**して広く発信することで、事業効果の最大化を図り、
- 都道府県においては、地域医療介護総合確保基金を活用し、地域の社会資源や人口構成等の実情に応じた介護の仕事の魅力発信や、求職者に対する支援施策等の周知を行うことにより、多様な人材の参入促進・定着を図る。
- また、「2040年に向けたサービス提供体制等のあり方」に関するとりまとめにおいて、若い世代が希望ややりがいを持てる業界となるために、「**社会課題(SDGs、災害対応等)に対応する介護**という観点をアピールすること」などが盛り込まれたところ。
- こうした内容も踏まえながら令和8年度においても、引き続き、介護の仕事の魅力発信を行っていく。

2 事業スキーム・実施主体等

